

# 令和7年度PDCAサイクル(2次性骨折予防チーム)


**P**

**計画**

**今年度の目標**  
骨粗鬆症治療継続率を把握する  
新電子カルテ以降に伴い作成した患者情報共有シートの評価を行う

**令和7年度チーム活動計画**

- ①骨粗鬆症治療継続率を把握する
- ②2次性骨折予防介入患者情報共有シートの使用方法の周知、入力漏れの確認、改善点の検討を行う
- ③他職種間でのコミュニケーションの方法を検討を行う
- ④骨粗鬆症リエゾンサービスについての知識の共有を行う



**D**


**実行**

- ①骨粗鬆症治療継続率を把握する
- ②2次性骨折予防介入患者情報共有シートの使用方法の周知、入力漏れの確認、改善点の検討を行う
- ③他職種間でのコミュニケーションの方法を検討を行う

- ・新電子カルテへ移行し、評価管理一覧にて治療継続率の確認など介入内容の確認を引き続き行う。
- ・入力方法の変更などがあればその都度チームメンバーにも入力方法を周知し、他職種がタイムリーに入力できる様にして行く。
- ・チームのスペースを作成。伝達事項や入力漏れなどを報告するためのディスカッションを作成し、マネージャーが中心となってチェック、適宜声かけを行う。

- ③骨粗鬆症リエゾンサービスについての知識の共有

- ・今年度も整形外科病床がある病棟看護師対象に勉強会を実施する。
- ・1名骨粗鬆症マネージャーの資格取得に向けての学習を実施。看護研究を行い、骨粗鬆症学会へ参加する。



**C**


**評価**

- ①骨粗鬆症治療継続率を把握する
- ②2次性骨折予防介入患者情報共有シートの使用方法の周知、入力漏れの確認、改善点の検討を行う
- ③他職種間でのコミュニケーションの方法を検討を行う

- ・新電子カルテへ移行し、評価管理一覧にて治療継続率の確認など介入内容の確認を行った。
- ・チームのスペースを作成。伝達事項や入力漏れなどを報告するためのディスカッションを作成し、マネージャーが中心となってチェック、適宜声かけを行ったが、チェックが追いつかないことが多かった。入力漏れ自体は減少傾向にあった。入力方法の変更などは、スペースを活用し、その都度チームメンバーへの周知を行った。

- ③骨粗鬆症リエゾンサービスについての知識の共有

- ・今年度も整形外科病床がある病棟看護師対象に勉強会を実施した。
- ・1名骨粗鬆症マネージャーの資格取得に向けての学習を実施、合格した。
- ・現在看護研究を行っている。令和8年度の骨粗鬆症学会にて発表予定となっている。



**A**

**改善**

- ①骨粗鬆症治療継続率を把握する
- ②2次性骨折予防介入患者情報共有シートの使用方法の周知、入力漏れの確認、改善点の検討を行う
- ③他職種間でのコミュニケーションの方法を検討を行う

- ・新電子カルテへ移行し、評価管理一覧にて治療継続率の確認を継続して行く。
- ・引き続きスペースを活用してチェック漏れなどの声かけを行っていく。

- ③骨粗鬆症リエゾンサービスについての知識の共有

- ・看護研究を実施している。令和8年度の骨粗鬆症学会へ参加し、発表予定となっている。
- ・看護研究にて理解度などの調査を実施。その結果を基に勉強会内容の決定や、勉強会の対象者を検討して行く予定となっている。

